

# 平成6年度花壇管理状況

飯塚 康博

平成6年度は大花壇、事務所前花壇で4回、その他の花壇で、2～3回の植え付けを行なった(表参照)。

植え付けた草花は、18種類、51,924株である。

## 概要及び所感

- (1) 模様については、大花壇では菱形を基本とした形(図1A, B)とし、小花壇は斜線を利用した模様(図2)とし、大温室横花壇は三角形を多用したジグザグ模様(図3A, 3B)とした。
- (2) 植物については、特に新しい品種を使うことはなく、品種数も絞って管理を行った。しかし、出来ばえはあまり良いものではなかったなのでその反省として、品種毎に生育状況、今後の管理の方向について述べる。

まず、ベゴニア・センパフローレンスであるが、例年、白色が早く傷むのに対し、6年度は赤色の傷みが激しかった。原因ははっきりしないが、猛暑の年であったため、光を吸収しやすい赤葉品種のほうが高温むれを起こしたのではないだろうか。補植をし、次の植え替え日を早くすることによって対応した。

ペチュニアは水管理の行き届かない株があったので、かん水を徹底させた。また、7月に1回刈り込みを行ったところ、次の植え替えまで観賞できた。

アゲラタムは花つきが悪かった。植え付けた時点で蓄が少なかったことから、育苗段階での多肥が原因ではないかと考えられる。

サルビア・ファリナケアは、前に植栽したベゴニア・センパフローレンスの傷みが激しく早く植え付けることになったため、9月の

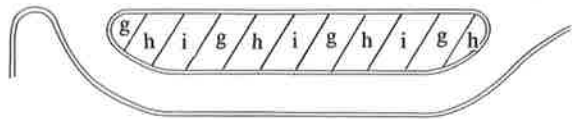


図2 小花壇

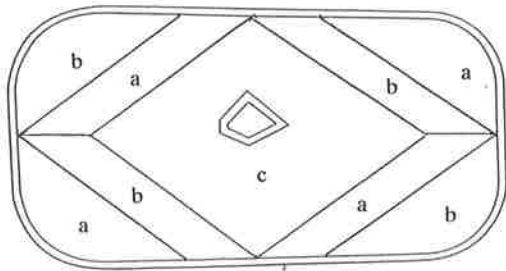


図1-A 大花壇

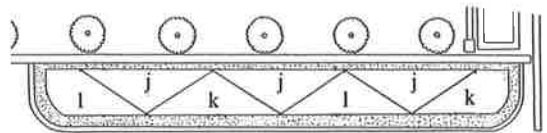


図3-A 大温室横花壇

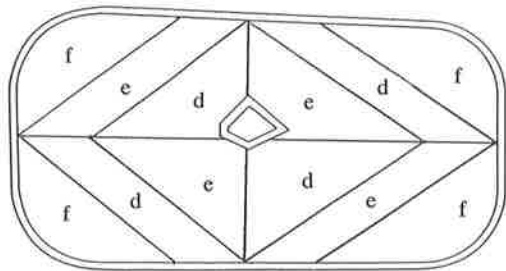


図1-B 大花壇

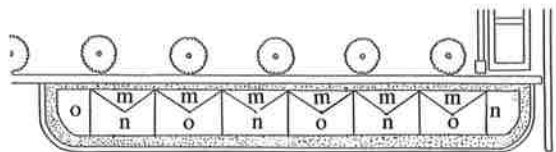


図3-B 大温室横花壇

場所	植物名	植付日	植物名	植付日	植物名	植付日	植物名	植付日	植物名	植付日
大花壇	a ベゴニア*1 赤	4/28	d サルビア*2 青	7/29	f パンジー	10/14	d ポットマム 桃	10/23	a パンジー 青	11/25
	b ♪ 白		e ♪ 白				e ♪ 黄		b パンジー 黄	
	c マリーゴールド 黄		f ニチニチソウ				f ♪ 白		c C.ノースポール	
小花壇	g ベゴニア 桃	4/28	g アゲラタム 桃	8/26					g パンジー 黄	11/18
	h ♪ 白		h ♪ 白						h パンジー 青	
	i ♪ 赤		i ♪ 紫						i ♪ 白	
大温室横	j マリーゴールド 橙	5/13	m サルビア 赤	8/25					j パンジー 青	11/11
	k ベゴニア 白		n トレニア 紫						k パンジー 黄	
	l ♪ 赤		o ♪ 桃						l ♪ 白	
食堂横	マリーゴールド 黄	5/18	コリウス 赤	8/26					ネモフィラ 11/19	
花時計	ベゴニア 赤	5/13	テランセラ 赤・黄	8/26					C.ノースポール	
	ベゴニア 白								ビオラ 赤・白・黄・青	12/2
展示北	ベゴニア 赤・白	5/20	テランセラ 赤・黄	8/26					ビオラ 黄・青	12/2
展示前	センニチコウ	5/27			テランセラ 赤・黄	9/2			ビオラ 黄・青	12/2
事務所前	パチュニア 混	5/13			サルビア 赤	9/2	ナデシコ 赤	10/14	シロタエギク	12/2
									C.ノースポール	
ゲート前	宿根ハーベナ 混	5/27							ビオラ 黄	12/2
芝生北	マリーゴールド 黄	5/20	コウリス赤・黄	8/12					C.ノースポール	11/22
	ベゴニア 赤								ビオラ 黄	
食堂 フラワー ボックス	パチュニア 混	5/13							アージー 混	11/24
	ベゴニア 赤								C.ノースポール	
展望塔前	ベゴニア 赤・桃	5/18							ネモフィラ 11/30	
									C.ノースポール	

(注) a～oの記号は、図の記号の位置に対応する。 \*1 ベゴニア センパフローレンス \*2 サルビア ファリナケア

中旬ごろから傷みが目立ちはじめたが、殺菌剤（ベンレート水和剤）を散布したところ、10月中頃まで花が咲いた。また、サルビア・ファリナケアと共に、トレニアも植える予定だったが、植え付け日が大幅に繰り上がったため、苗が間に合わず、ニチニチソウで代用することになった。しかし、ニチニチソウの方は10月中旬までしかもたなかったため、パンジーに植え替えた。植え付け日に関わらずニチニチソウは10月になると葉が黄色くなり傷みはじめるので、委託で花壇に使用する場合は、そのことを考慮に入れて設計しなければならない。

ネモフィラは、植付け後の生育にもばらつきが見られた。これは多肥が原因だと思われる。

るので植え付け前の施肥に注意を払う必要がある。

パンジーは、3月頃から灰色かび病が目立つようになってきた。毎年見られるので、薬剤散布による早めの対処を心掛けたい。薬剤はベンレート水和剤を用いたが、スミブレンド水和剤の方が効き目がある（平成7年度4月に使用して、効果を確認した）ので、今後はスミブレンド水和剤を使用した方がよいだろう。

その他の植物については特に問題はなかった。なかでも、トレニア、センニチコウは花もちがよかったのもっと面積の大きい花壇に使用してもよかったかもしれない。

### 園内気象記録

平成7年1月1日～12月31日

区分 月別	気 温 (°C)				降雨量 (mm)
	平均最低	平均最高	月最低	月最高	
1月	0.6	8.7	-3.5	17.1	34.5
2月	0.6	10.0	-2.8	14.6	36.0
3月	3.8	13.7	-1.5	20.5	93.5
4月	7.8	17.4	-0.5	22.9	138.0
5月	11.8	22.3	5.2	26.3	307.0
6月	16.1	24.9	12.0	28.5	131.0
7月	22.3	29.2	18.5	34.7	440.5
8月	23.9	32.8	21.1	35.7	27.0
9月	17.7	26.8	12.5	32.2	197.0
10月	12.7	23.2	5.3	28.6	98.0
11月	5.0	15.4	1.4	20.4	10.5
12月	1.0	9.7	-4.7	13.7	40.5
計					1554.0

〈参 考〉 最高気温記録日 8月24日 35.7°C  
 最低気温記録日 12月31日 -4.7°C  
 最大雨量記録日 7月2日 127mm

\*観測場所については、これまでの記録と同じである。

(井上尚子)